

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和3年12月11日16時30分
福岡管区気象台

令和3年12月4日12時頃からのトカラ列島近海（小宝島付近）の 地震活動について（第9号）

当面の間、震度5強程度の地震に注意

○ 防災上の留意事項

12月4日12時頃からトカラ列島近海（小宝島付近）で地震活動が活発となっており、9日11時05分にはM6.1の地震が発生し、鹿児島県十島村（悪石島）で震度5強を観測しました。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動に十分注意してください。

この地域では、過去にも地震活動が継続した事例があります。当面の間、同程度（震度5強程度）の地震に注意してください。

○ 地震活動の状況

12月10日15時から11日15時までの期間に、最大震度を観測した地震は、10日20時14分頃に発生したM2.9（速報値）の地震で、鹿児島県十島村（悪石島）最大震度3を観測しました。

12月11日15時現在、最大震度1以上を観測した地震は281回（最大震度5強：1回、最大震度4：2回、最大震度3：14回、最大震度2：75回、最大震度1：189回）発生しています。

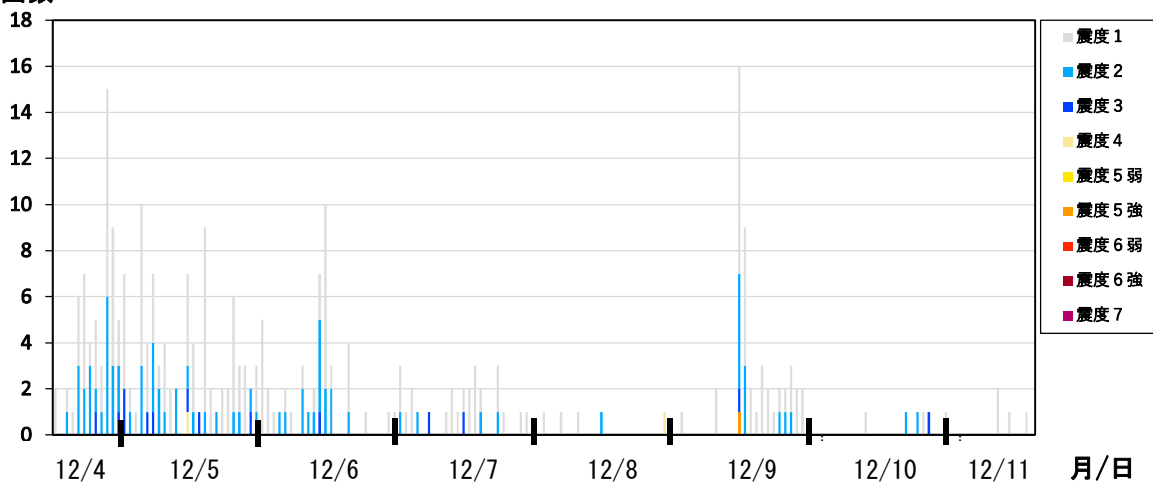
○ 最大震度別地震発生回数表

令和3年12月4日12時～11日15時 震度1以上

※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがあります。

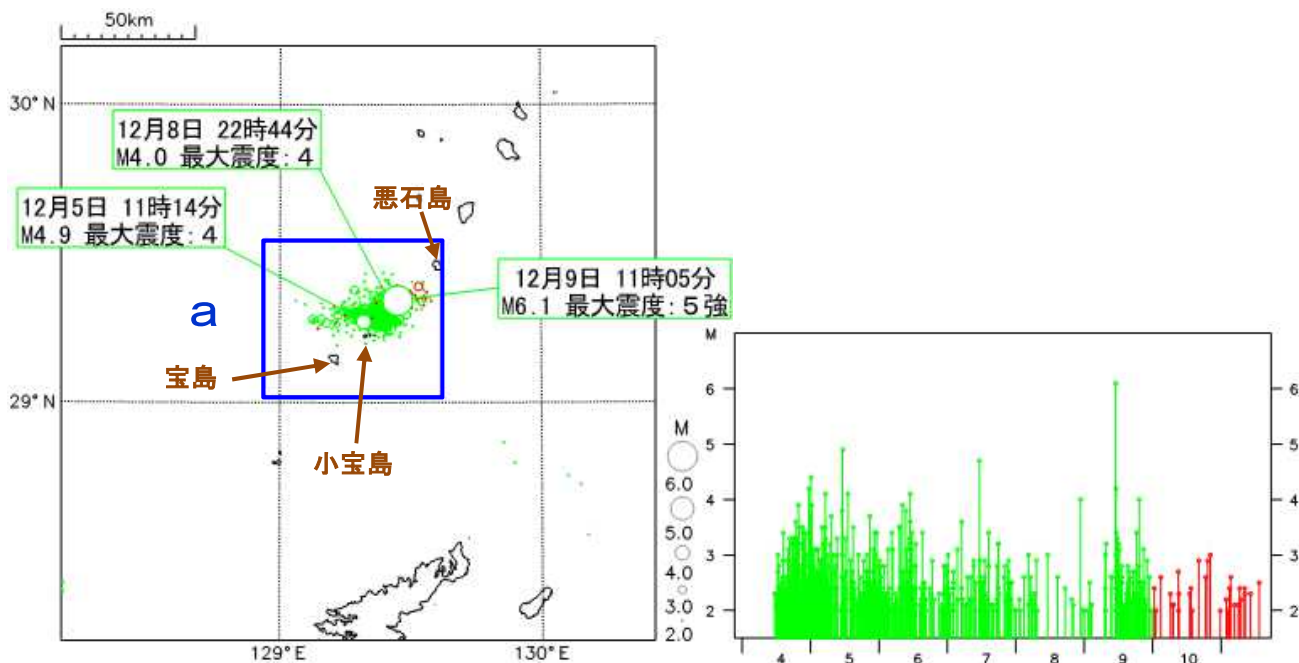
時間別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	回数	累計
12/4 12時-24時	35	22	2	0	0	0	0	0	0	59	59
12/5 00時-24時	59	20	7	1	0	0	0	0	0	87	146
12/6 00時-24時	29	15	1	0	0	0	0	0	0	45	191
12/7 00時-24時	21	4	2	0	0	0	0	0	0	27	218
12/8 00時-24時	3	1	0	1	0	0	0	0	0	5	223
12/9 00時-24時	35	11	1	0	0	1	0	0	0	48	271
12/10 00時-15時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	272
15時-16時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	272
16時-17時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	273
17時-18時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	273
18時-19時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	274
19時-20時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	275
20時-21時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	276
21時-22時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276
22時-23時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276
23時-24時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	277
12/11 00時-01時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
01時-02時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
02時-03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
03時-04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
04時-05時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
05時-06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
06時-07時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
07時-08時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	277
08時-09時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	279
09時-10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	279
10時-11時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	280
11時-12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	280
12時-13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	280
13時-14時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	281
14時-15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	281
総計	189	75	14	2	0	1	0	0	0		281

回数



最大震度別地震回数図

○ 今回の地震活動の状況



震央分布図

左図領域a内の地震活動経過図

(2021年12月4日00時～2021年12月11日15時、
M \geq 2.0、深さ0～50km)

※9日までの地震を緑色○、10日以降の地震を赤色○で表示
※震度4以上を観測した地震にコメントをつけた

<資料利用上の留意点>

- ・12月10日以降の地震の震源は速報値です。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。